

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<p>・高校生を対象に「元気おおい就職ガイダンス」の開催等により県内企業と新規学卒者に出会いの場を提供した。</p> <p>・育児や介護等で外で働けない女性を対象に「在宅ワーカー養成講座」を開催し、60人が受講・修了した。</p> <p>・シニア雇用推進員が県内企業225社を訪問して、高齢者雇用の実情を把握するとともに、好事例の紹介、関係機関の案内等を行った。</p>
	<p>・福岡事務所に学生就職サポーターを配置し、福岡県内大学との連携強化を図ったほか、福岡発着の「大分県内企業魅力発見バスツアー」を開催し、42人が参加した。</p> <p>・企業訪問によるコンサルティング等により、民間人材ビジネス事業者への取り次ぎ案件は、34件となった。</p>
	<p>・働き方改革に取り組む企業内リーダーの養成や、働きやすい職場環境づくりのための指導・助言を行うアドバイザーの派遣、優れた成果をあげた企業の表彰などに取り組む、企業の活動を支援した。</p> <p>・県内企業の経営者を対象としたトップセミナーを開催し、機運醸成を図った。</p>

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	女性のスキルアップ総合支援事業	44,352	C	継続・見直し	158
	シニア雇用推進事業	21,885	A	継続・見直し	159
	障がい者雇用総合推進事業	11,648	A	継続・見直し	160
	おおいたUIターン就職促進事業	125,111	B	終了	161
	おおいた学生県内就職応援事業	32,008	A	継続・見直し	162
	九州連携ふるさと若者就職促進事業	24,426	B	継続・見直し	163
	プロフェッショナル人材活用推進事業	12,443	C	終了	164
	働き方改革推進事業	25,490	C	継続・見直し	165

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>第4回「大分県働き方改革推進会議」(H29.8)</p> <p>・中小企業は働き方改革に取り組む余裕がなく、経営者はどう取り組めばよいかも分からない。企業の規模、業種等状況に合わせたきめ細かな指導が必要。働き方改革を試行錯誤しながら進めていくうえで、単発のコンサルティングではなく定期的な指導助言をしてほしい。</p>	
--	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<p>・シニア世代のための就職面談会の開催数を増やし、潜在求職者の掘り起こしとマッチングに取り組むとともに、シニア雇用推進オフィスでは、シニア雇用推進協議会の取組と連携しながら、高齢者雇用の啓発を引き続き進める。</p> <p>・特に人手不足感が強い観光・建設・物流の各産業において、技能習得・資格取得から就職までの一貫した雇成型訓練を実施する。</p> <p>・UIターン就職希望者に対するきめ細かい支援に努めるとともに、県内出身学生及び保護者に対して「おおいた学生登録制度」等による情報発信や県内出身学生が多く在住する福岡県での就職支援に引き続き取り組むとともに、県内大学等での県内就職促進の取組を大学・関係機関と連携し実施する。</p> <p>・長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の導入など、働き方改革の推進を図るため、中小企業等の経営者を対象とした勉強会の開催や専門家の長期派遣による働き方改革の実践サポート等により機運醸成や企業支援に取り組む。</p> <p>・在宅ワークの普及を引き続き推進するとともに、在宅ワーカーと企業のマッチング交流会を開催し、多様な働き方の実現を図る。</p>